

10月のアーティスト・イン・レジデンス プログラム ～余越保子 ダンス作品『ZERO ONE』滞在制作～

10月に城崎国際アートセンターで予定されている、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムをお知らせする。

1 よこしやすこ 余越保子 ゼロワン 『ZERO ONE』滞在制作

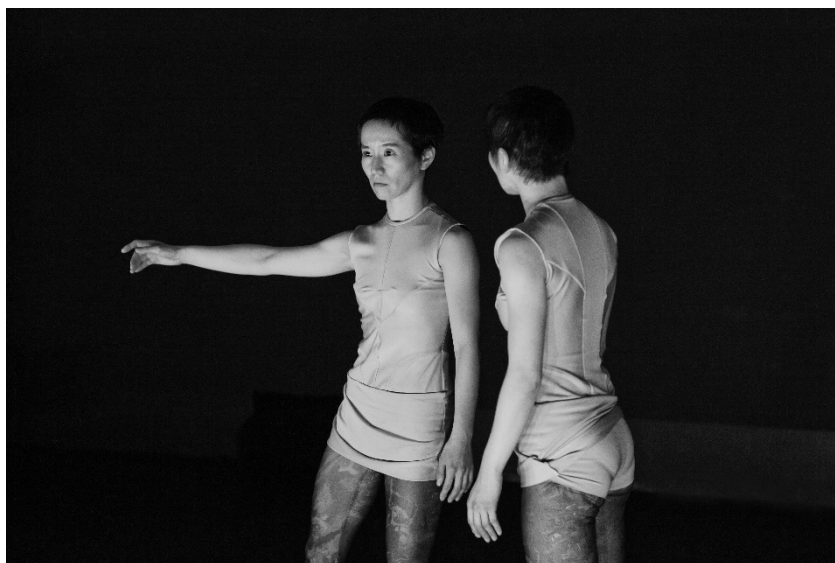
(1) 滞在制作

ア 期間

10月10日(月)～10月31日(月)

イ 内容・特色

- (ア) 約20年間ニューヨークを拠点に活動してきた振付家 余越保子によるダンス作品『ZERO ONE』の滞在制作。
- (イ) 『ZERO ONE』というタイトルには、ZERO (何もない) から ONE (何か生まれる) の間の時空を編み込み、ダンスそのものを考察するという意味が込められている。
- (ウ) 京都とアムステルダムを拠点にそれぞれ活動する双子のダンサー福岡まな実と福岡さわ実によるダンスと、余越が2010年に撮影した映画『Hangman Takuzo』ハンガマン タクゾウからの映像も盛り込んだ作品。
- (エ) 2015年にニューヨークで上演された英語版『ZERO ONE』は、ニューヨークタイムズ紙「The Best Dance of 2015」に選出された。
- (オ) 城崎国際アートセンターでは、2年ぶりの日本公演にむけて英語版の再創作を行う。
- (カ) 余越は、2015年3月に行われたパフォーミングアーツ・ツーリズム「城崎温泉ダンス旅」のコウノトリダンスの振付を担当した。



『ZERO ONE』(2013)©Kentarō Hisadomi

(2) 地域交流プログラム 余越保子『ZERO ONE』試演会

ア 日時

10月29日(土) 午後7時30分～

イ 場所

城崎国際アートセンター

ウ 料金

無料

エ 託児サービス

10月21日(金)までに城崎国際アートセンターへ電話で申し込む
(対象:満1歳6カ月～就学前まで)

オ 申込み

電話またはメールで申し込む(代表者氏名、人数、連絡先が必要)
〔申込先〕城崎国際アートセンター
TEL 0796-32-3888 (受付9:00～17:00 火曜休館)
e-mail info@kiac.jp

〈プロフィール〉

1 余越保子 (Yasuko Yokoshi)

振付家。広島県出身、京都在住。1996年よりNYをベースに作品を発表。2003年と06年にベッシー賞を連続受賞。日本の文学、歴史、ポップカルチャーを題材にしたダンス作品の他、日米のティーンエイジャーとの共同制作「余越保子×高校生ダンスプロジェクト」、ダンス映画の制作など創作活動は多岐にわたり、アメリカ国内各地での公演の他、国外からの招聘も多い。New York Live Arts 主催レジデンシー・プログラム 2011-13年度レジデント・コミッション・アーティスト。13年制作の『ZERO ONE』は、これまで鳥の演劇祭7(鳥取/2014)、Danspace Project (NY/2015)にて上演。NYでの上演は、NYタイムズ紙「The Best Dance of 2015」に選出された。

〔問合せ〕豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016
事業内容については
城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888